

「SUMISYS NEO」phase II の開発

(目的) 規格型システム建築の「SUMISYS NEO」は、従来の自由設計型システム建築「TREQ」に規格性を持たせ、設計、生産および現場の省力化を図る。一方で、「SUMISYS NEO」は、建屋の形状と荷重条件の要望には、システム建築として最適な提案を可能とする。

今後、「SUMISYS NEO」は、「TIO」、「TREQ」と並ぶ日鉄物産システム建築の主力商品として位置付ける。

(特徴) 「SUMISYS NEO」の開発は、phase I から phase III までの3段階により、規格型システム建築の領域で適用範囲を拡大する。

「SUMISYS NEO」 phase II では、2階建ての建屋に対応できる商品とした。

今回、建屋の形状(軒高、スパン)と荷重条件(床荷重、多雪地域、クレーン容量)に対して、より最適な提案が出来るように柱脚と基礎システムの充実を図った。構造特性に合わせて柱脚の仕様(ピン柱脚、半固定柱脚)の選定を行い、基礎システムでは RC 基礎梁ユニットと2本杭仕様を標準化し、主架構と基礎の最適な組合せを可能とする。

(効果) 自由設計型システム建築「トレオ」と比べ10%以上のコストダウンが期待できる。

(採用目標) 「SUMISYS NEO」 phase II の販売開始は2020年4月を予定しており、2020年度では年間40棟の採用を目指す。



「SUMISYS NEO」 phase II の試作試験状況